
リアルフェイク

戸川ゆり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リアルフェイク

【ISBN】

N8481P

【作者名】

戸川ゆり

【あらすじ】

僕たちはただ、平和とか、平穏とか呼ばれるものがどんなものか知りたかつただけなんだ。

それは、いつまでも逃げ続けていく物語――

始まり

その場を支配しているのは、優しい歌声だった。

彼女のステージは高く積み上げられた瓦礫の山。スポットライトも、誰の喝采を浴びるわけでもなく、囁きかけるように、それでいて凜と歌っている。

斑に紺く染まつたドレスを身に纏い、見よう見真似のたどたどしいお辞儀をした少女。

その足元には、数刻前まで人間であったはずのモノが無数に散らばっていた。

男が異変に気がつき駆けつけた時には、屋敷はすでに原型を留めていなかつた。

今更できることもなく、ただ、辺りを満たす歌声に圧巻された。

優しくて哀しい、澄みきつた狂喜を含んだ歌に。クルクルと舞台を回る少女に意識をもつていかれていた。耳はその歌声に魅せられ、動くことができなかつた。はつとしたのは、両手を空にかざしていた彼女が、叫びながら瓦礫の向こう側に倒れていってからだつた。

事の始まりなど、誰もしるよしもなかつた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8481p/>

リアルフェイク

2011年1月9日01時20分発行